



小 / 算数 / 4年 / 数量関係 /
折れ線グラフ / 理解シート

波線(〰)を使った折れ線グラフは、どのようにかけばいいの



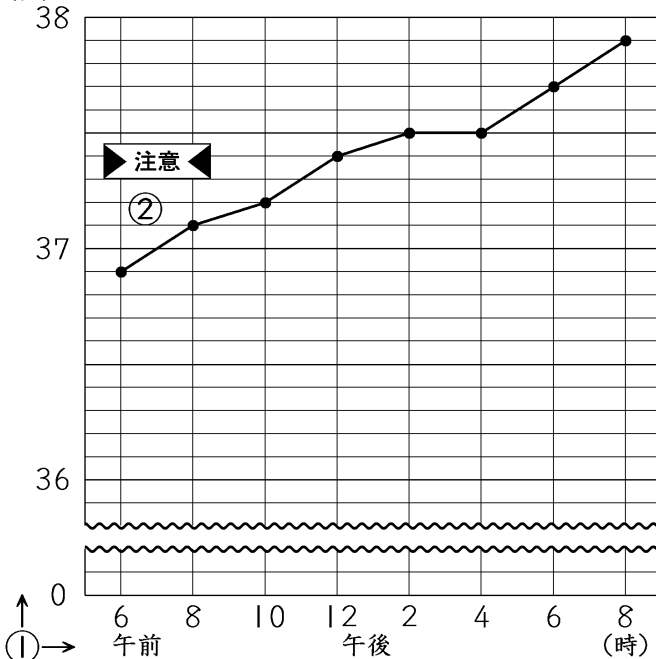
下の表の、一日の体温を折れ線グラフにかいてみるよ。

	体温調べ (午前)				(午後)			
時こく(時)	6	8	10	12	2	4	6	8
体温(度)	36.9	37.1	37.2	37.4	37.5	37.5	37.7	37.9
	(最低)				(最高)			

ポイント ▶ 上のように、最高体温と最低体温のちがいが小さいときは、
変わり方かのようすがはつきりわかるように、波線(〰)を使った
折れ線グラフをかきます。

大切! 36.9度から37.9度が表されていればよいのですから、
36度よりひく低い体温ははぶき、36度から38度まで目もりをとります。

注意 ◀ ③体温調べ



注意 ◀ ① たてのじくに、36度から38度まで目もりをつけ、0~36度の間に波線(〰)をかく。横のじくに時こくをつける。

注意 ◀ ② 時こくの体温を表すところに点を打ち、点と点を直線でつなぐ。

注意 ◀ ③ 表題をかく。

36から37の1度の間に10目もりあるから、1目もりは、0.1度を表しているんだよ。



注意 ◀